



どのような未来を目指すための事業か

令和元年東日本台風と同規模の豪雨による
河川氾濫の水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて、
流せる水の量を
増やしました

地元の声

- ・近年の豪雨で地域が冠水してしまうのではと心配（地元住民）
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい（地元住民）

事業前

◆大雨時、支川等から急激に水が流れ込むため、
河川が氾濫するおそれがありました

令和元年台風19号の様子



事業前の状況

事業後

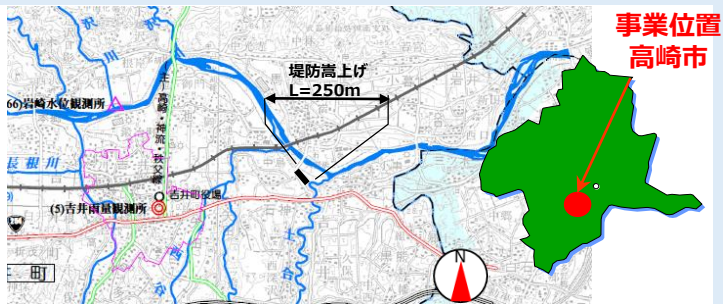
◆堤防を設置することにより、流せる水の量を
増やし、河川の氾濫による被害リスクを軽減
しました。



事業後の状況

事業の概要

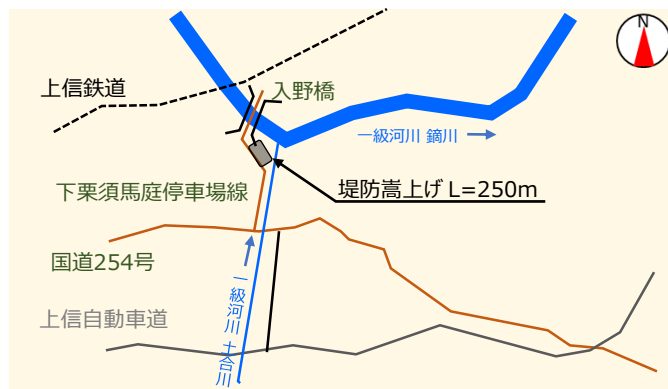
- 事業箇所：高崎市吉井町中島
- 事業内容：堤防嵩上げ 延長 250m
- 事業期間：令和2年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に堤防嵩上げ工事が完了
しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了